

長野県林業大学のグレードアップに関する報告書のポイント

1 森林・林業の現状・課題

- ・森林資源の持続的活用【環境】
- ・木材の価値創生と所得向上【経済】
- ・農山村社会の構築【再生】
- ・学びの県づくりの推進



- ・時代の変化に対応する高い意識
- ・世界水準の知識・技能を備えた次世代の人材を育成する国内外最高レベルの教育拠点へ

2 林業大学が目指す姿

(1) 教育理念

信州の美しく豊かな山岳・森林資源を良好に保続・発展させるための専門教育・研究拠点として

- ・自然の営みと伝統文化を尊重し、森林を農山村社会における複合的価値として磨き上げる知識と技能・技術を身につけた人材を育成
- ・林業が世代をつなぐ豊かな地域社会づくりに貢献できるよう、多様な研究を実施
- ・いつでも誰でも、森林・林業の「学び」を継続できる教育を展開

(2) 実現するための必要事項

①教育内容・方法

理論と実践に基づく「実学」教育
安全意識・技術の最重視 等

②学校体制・運営

実務家を含む教職員の確保
学校の核となる人材の常駐

③産学官連携

「オール長野」で推進
業界連携でインターン

④国際連携

グローバルな技術交流
国際基準の教育の提供
(オーストリア・フィンランドとの連携)

⑤地域・業界への貢献

学び直しの機会の提供
フォレストバレーの中核化



3年制「専門職短期大学」への移行

日本（アジア）をリードする森林・林業の人材育成拠点

3 重要かつ早急に取り組むべき項目

①教育課程・組織の検討

②連携体制構築

③施設等整備

④新体制移行